

Magico Q-1

製品の概要

MAGICO Q は、Magico Qシリーズファミリーの最もコンパクトなモデルです。Q1 は Q5/Q3 で採用された Nano-Tech・カーボンファイバーを使用した高効率の7インチ口径ナノテックウーファードライバーにツイーター MBe-1 を搭載し、Q デザインプラットフォームからなる理想的な点音源を追求した強固なスタンドが付属します。

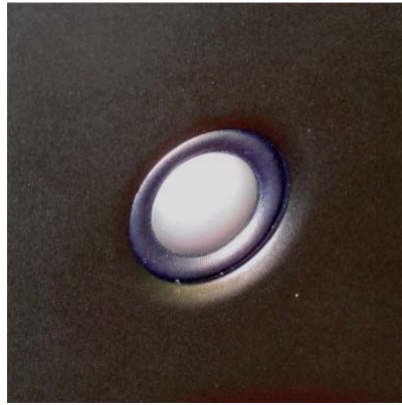
Q-1 は Q5/Q3 同様、ダンブされたハードアノダイズ仕上げの #6061 アルミニウムと真鍮からなる完全密閉型エンクロージャーを持ちます。この強固なエンクロージャーと専用スタンドからなる Q1 の外観はシンプルでコンパクトですがその重量は本体 27kg、スタンド 27kg と非常に重く、Q5/Q3 同様軽量のユニットを強固に保持し、システム全体がまさにコンプレッションドライバーのように動作します。

Q1 のパッフルは、連続的なカーブの採用により音波の物理的回折を極小にしています。MBe-1 ツイーターはそのパッフル効果によりベースとの一体化がなされ、まるでフルレンジのようなピンポイント資源を実現しています。また強固で重いスタンド／キャビネットを支えるスパイクフットなどは Q5/Q3 にも共通し、その独自のフリースタANDING方式の採用により、空間に音像が浮かぶ様をもっとも享受し易いスピーカーシステムになっています。

ドライバーユニット

Magico は世界で最も優れたドライバーユニットを開発・実装することを目指し、新しいツイーター MBe-1 を完成させました。MBe-1 は最新のブレイクアップモード制御されたベリリウム振動板を採用しています。チタンより 2.5 倍軽量で 7 倍の強度を持つ適度にダンブされたベリリウムはツイーターの理想的な振動板です。ツイーターのハウジングは大きな Q のアルミニウムフェイズプレートと一体になり、リングのないスムーズなミッドレンジとのつながりを実現します。その結果、広い高域特性、低歪率、大きなパワーハンドリングを同時に達成できました。

ウーファースは MAGICO デザインの Nano-Tec 7 インチドライバーで構成されます。この Nano-Tec ドライバー



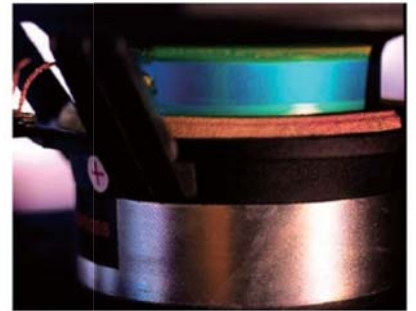
はすべて Magico で設計、製造され、コーン構造にカーボン・ナノチューブを世界で最初に採用したユニットです（三層の振動板は Rohacell フォームをコアとし、ナノテクカーボン繊維でサンドイッチしています）。高効率な熱伝導を持つナノテクコーンのカーボン外皮は伸長率と弾性率双方に優れ、圧倒的に軽く強固です。実際この高強度のコーン素材はヘリコプターのローターブレードに採用されているフォームコンポジット素材と同等で、従来のチタンやアルミニウムなどの従来金属のダイヤフラムとは比較にならないスピード強度を持ちます。



クロスオーバー・ネットワーク

Magico スピーカーシステムの機械的電子的要素は全て最新の CAD ツールで設計、デザインされています。Magico 社は CAD に必要とされるソフトウェアも自社で開発しています。Magico では電子制御同様のステップアップスロープを実現したフィルター回路の "Elliptical Symmetry Crossover (ESXO)" を開発しました。ESXO ネットワークを採用した 2 Way

はまるで 1 本のフルレンジのような他に類のないサウンドイメージを実現します。



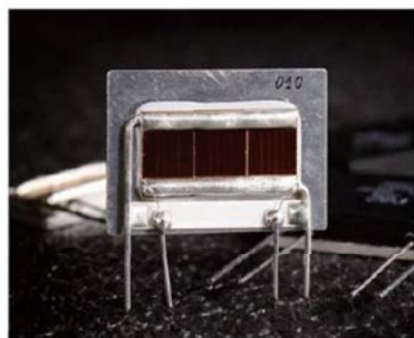
Titanium voicecoil bobbin



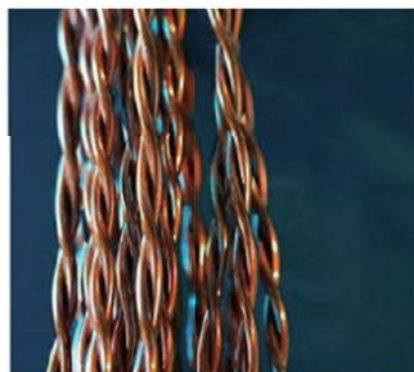
"ESXO" Network

Q シリーズのクロスオーバーパーツ／ネットワーク素材は現在最高の品質を誇る製品を採用しています。中でも特に抵抗は音質に非常に重要な要素です。音楽信号は電流値が均一ではなく、絶えず変化しています。典型的なパッシブ抵抗 / レジスターでは、入力される音楽信号相当の熱を抵抗そのものから発散します。そして抵抗の発熱により、その周囲の色々な電子パーツやエレメントの温度を上昇させます。温度の変化は、スピーカーの特性に大きな影響を与えます。この望まれない影響を払拭する為、Q シリーズでは軍用や航空宇宙用に開発された厳しい高信頼性、高安定度を満たすバルクメタルフォイル抵抗 / Bulk Metal Foil resistor を世界で初めてクロスオーバーネットワークの為に特別に設計、採用しました。この抵抗の低温係数は $\pm 2\text{ppm}/^\circ\text{C}$ の超高精度で、一般のどの抵抗よりも優れた 50 倍以上の長期負荷安定度を示します、この素晴らしい抵抗を採用した結果、Q シリーズはどのような周波数、電圧でも安定した抵抗値を保ち、高精度なクロスオーバー特性をキープします。その違いは、はつき

りと聴き取れます。また、ドライバー間の配線には 6N 単銅線を使用しています。



Bulk Metal Foil resistor



6N solid-core copper wiring

オールメタルエンクロージャー & 専用スタンド

Magico はスピーカーに最先端の #6061 系アルミニウム合金をいち早く採用したメーカーです。我々は 1994 年に最初のアリミニウム合金エンクロージャーを開発しました。この素材は堅く、ダンブしやすく、適切なデザインを与えれば振動板から不要な色づけを排除できる理想的なエンクロージャが設計できます。Q シリー図に採用されたオールメタルのエンクロージャーはユニット共振の抑制に優れるばかりではなく、エンクロージャーの不要な共振による時間対減衰量=エネルギーロスを低減し、ユニットに入力されたエネルギーをロスすることなく音に変換します。

楽器ボディのレゾナンス/共振はその性質と品質を定義することにおいて不可欠な要素ですが、それとは正反対なのがスピーカーのエンクロージャー（ボディー）に求められる要素です。MAGICO は多くの年月をエンクロージャーの開発に費やしました。3つの要素、スチフネス、マス、ダンブネスを従来のコストという壁を打ち破って達成しています。エンクロージャのフロントのみならずすべての面とエッジは研磨されて、美しいアノダイズ加工が施されています。このエンクロージャ全体は我々の過去から現在までの機能性、美的追求の結果としてのデザイン表現です。



専用スタンド

Magico は、スピーカースタンドの重要性を最も認識して専用スタンドを提供してきました。回折の影響、デザイン性、強靱な支えとして、空間にエンクロージャーが浮かぶような形状、これらの条件を満たすべく、本体と同素材の #6061 アルミニウムを切削加工して作られた Q1 のスタンドはスリムで美しく、類を見ない仕上げとなっています。スタンドとスピーカーは 4 本のねじにより、完全に一体となります。



27kg の Q1 にスタンドを加えた 54kg の超重量級システムを支えるのは高耐腐食性に優れ、ステンレスの中でも最高硬度の SUS 440C ステンレス素材から放物線カーブに削り出された、高さ調整可能なスパイクを標準装備しています。



周波数特性

Q シリーズに採用されたの強靱な素材の密閉箱からなるエンクロージャーは、バスレフディップ（バスレフ方式を採用する事による周波数のディップ）なく完全なフラットレスポンスを示します。強靱な硬質アルミニウムのキャビネットと、Nano Tec コーンによるダイレクトラジエーターを持つ Q シリーズは大型のコンプレッションドライバーにも似て、ボイスコイルに入力されたエネルギーを余すことなく、忠実に音に変換します。

ピアニッシモからフォルテッシモまで全帯域で偏った減衰を伴わず、リスナーにノンカラーレーションの音楽を届けるのがスピーカーの理想形です。この理想に最も近い Q シリーズスピーカーは、ボリュームを絞っても帯域バランスが崩れず、ダイナミズムに優れたサウンドを実現します。世界で最も高いレベルでノンカラーレーションを達成したスピーカだと自負します。

今まで我々は従来のスピーカーにおける妥協点を洗い直し、理想に向かって多くの技術革新を試みてきました。そして多くの制約や妥協を排除して生み出された、Q シリーズは、それらを克服した新生代のスピーカーのキーストーンとなるでしょう。

Magico デザイナーの Alon Wolf は、生産の実現において一切妥協せず、販売の成功において一切強要はしません。しかし、彼自身の四半世紀に及ぶスピーカー設計キャリアにおいて、この Q シリーズはひとつの頂を極めた造形物と自負しています。テクノロジーが HiFi 音楽再生において貢献できる方法を研究し続けることは我々だけでなく、音楽家とリスナーの双方にとって幸福をもたらします。その技術、製品が適切に使用された Q1 が、音楽をこんなにリアルに楽しめる時間を与えてくれたことは、なによりも Q1 を開発した我々を最も驚愕させたのです。



Magico Q1
定価 ¥3,200,000
(ペア・税別)
(スタンド付き)

方式	2Way 密閉型
ツイーター	25mm (MEBe-1)
ウーファー	175mm (Nano Tec)
推奨アンプ出力	50W~
インピーダンス	5 (オーム)
感度 (出力音圧レベル)	86dB
周波数帯域 (±3 dB)	32Hz-50KHz
外形寸法 (スタンド込)	H1117×W254×D386mm
質量	54Kg (1本/スタンド込)
入力端子	Single-Wire
仕上げ	ハードアノダイズ・ブラック

プレーヤー

**AIRBOW
UX1SE/LIMITED**
販売価格 ¥ 1,500,000 (税込)



音楽の「表現力」や「躍動感」といった「音楽を聞く楽しさ」をさらに重点的に磨き上げた驚異のユニバーサルプレーヤー。

アンプ

**AIRBOW
TRV-88SER Vintage**
定価 ¥ 280,000 (税別)



Vintage は名ばかりではない
真空管アンプにしか出せない音を聞かせます

アンプ

**AIRBOW
Tera Cryo Limited**
定価 ¥ 460,000 (税別)



「本当に素直で自然な音色の再現性」に加え、音の分離・D レンジ・F レンジの再現力が極限まで向上し、「真に色づけないストレートな音質」が実現しています。

アンプ

SST Ambrosia2000SE
定価 ¥ 280,000 (税別)



SST Ampzilla 2000SE
定価 ¥ 280,000 (税別)



試聴ソフト



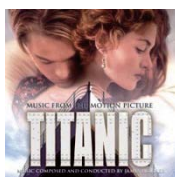
Orange pekoe
10Th Anniversary
"Selene"



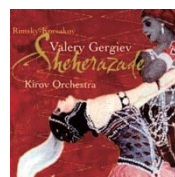
Furtowangler
ウィーンフィル
「田園」モノラル録音盤



ヒラリー・ハーン
バッハ無伴奏バイオリン



TITANIC Soundtrack



シェーラザード (ゲルギエフ)

TRV-88SER Vintage Orange pekoe

プレーヤーに AIRBOW UX1SE/LIMITED を奢り、アンプは真空管方式の AIRBOW TRV-88SER Vintage を使ってアコースティックなボーカルを聞いてみました。装置が全く介在せず、その場で Orange pekoe の生演奏が行われているような自然な音、心にしみいるような抜群のボーカル表現力をお聞きください。また、ダンピング特性の悪い真空管アンプを使っているにも関わらず、ウッドベースが全く滲まず（影らず）正確に再現されることに驚かされます。

Ambrosia・Ampzilla Orange pekoe

次にプレーヤーと楽曲はそのままにして、アンプをトランジスター方式のセパレートアンプ

に変えてみました。音の厚みが増しサウンドがグッとリッチになります。しかし、少し電気で増幅している（PA を介してコンサートを聴いている）ようなイメージに変化します。このことから Q-1 がアンプの音色を正確に音に変換していることがわかります。

Tera Cryo Limited Orange pekoe

音楽の精密なトランスデューサー（変換器）を目指して作られた Q-1 を、同じ方向性で作ったプリメインアンプ AIRBOW Tera Cryo Limited で鳴らしてみました。AIRBOW TRV-88SER Vintage で聞いていたときは、まるで生演奏を聴いているように自然な音でしたが、アンプを Tera Cryo Limited に変えたことで録音の現場に居合わせるような緊張感が伝わるようになります。また、ボーカルとマイクの距離や顔とマイクの角度の変化が再現されます。精密ですが、

レコーディングの現場に近すぎて、ちょっと緊張してしまいます。音は素晴らしく良いのですが、それが音楽にどっぷり浸ることを妨げる様子が伝わります。アンプは Tera Cryo Limited のままでソフトをタイムニックの SACD に変えます。Q-1+Tera の驚くべき低音再生能力をご確認頂けます。

Ambrosia・Ampzilla Orange pekoe

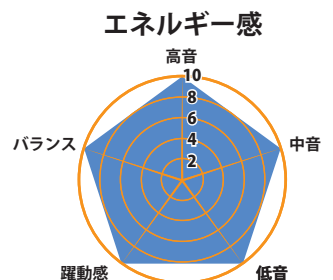
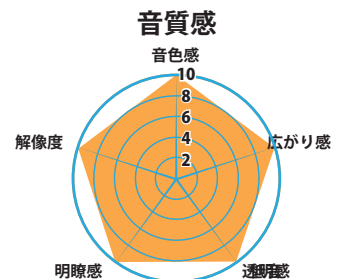
アンプを再び SST Ambrosia 2000SE、Ampzilla 2000SE に戻し、新旧の3種類のクラシックを再生します。古い録音のソフトも、大編成の交響曲も、シンプルなバイオリンのソロも、見事に鳴らし分ける Q-1 の実力を確認頂けます。

コチラのページの Q-1 を AIRBOW Tera Ambrosia・Ampzilla 2000SE で鳴らした3種類のクラシックの実際の音を、U Stream「逸品館オーディオ情報チャンネル」でご試聴頂けます。

周波数特性

工 レクトリから拝借し試聴した Magico Q-1 の音質は、Magico のカタログ通りでした。ぱつと聞いた感じ B&W に似ていますが、それよりも遙かに解像度が高く B&W では再生出来ない「空気の揺らぎ（音にならない場の雰囲気）」までが再現されます。この明瞭度が高く細やかなのに温度感が高く湿り気すら感じさせる「理想的な高域」は Q-1 以外のスピーカーでは聴いたことがありません。音が出た瞬間に、ネットワークを含めスピーカが理想的に作動していることを直感します。中音は反応が早くパワフルで、指向性のないホーン型スピーカーを聞いているようです。また、使用されている Nano Tec Carbon の音には色づけが全く感じられず、圧倒的なレスポンスとパワー感が一切の付帯音なしに得られます。このような音も Q-1 以外では聴いたことがありません。低音はスペックを見れば、このサイズの密閉型スピーカーでは信じられないほど低い 32Hz（かなり大型のスピーカーでなければ 32Hz は出ません）ですが、実

際に聴いた感じも驚くほど豊かな低音が感じられます。驚かされるのは、この低音がカタログの説明通り「完全にフラット」に再生される事です。エンクロージャーで増強された低音ではなく、周波数のみならず「速度」まで均一な低音はこれまで聴いたことがありません。また、今回の試聴では 1 種類の真空管アンプと 2 種類のトランジスターアンプで Q-1 を鳴らしましたが、ネットワークが優秀なためアンプに対する負担が少ないのか「とても鳴らしやすいスピーカー（アンプの素の音が聞ける）」だと感じました。入力される音楽信号を正確に音に変換する、精密なトランスデューサー（変換器）という名称が Q-1 にはピッタリと当てはまります。320 万円という価格なのでおそれと手が出せませんが、その価格を納得させられる「特別な音」、本物にしかない「オーラ」が Q-1 には感じられました。



逸品館 Caffe Break Time

逸品館にはいくつかの**部活動**があります。何部が1番活躍したのでしょうか？



カラオケ部

部員数約 8 名位
ぼちぼちと活動中の部活
スピーカーのメーカーを確認！
さすがオーディオ店員だぜ！



ボウリング部

部員数約 7 名
数名のボウラーたちが MY ボール
を片手にハッスルしています！
目指せ憧れのストライク！

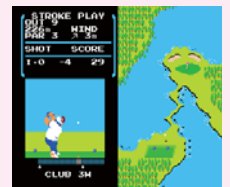
TOP 釣り部

部員数約 7 名位
代表自ら部長を務める釣り部。
社員旅行の際には 10 名を超えます！
大物目指して頑張れー！釣りブログあります！



NEW ゴルフ部

部員数約 4 名。
セレブなゴルフ部！毎月ラウンド回ります！
練習も楽しく全ラウンドホールインワン！



モンハン部

部員数約 4 名
休部中。。。
一時は隆盛を極めたが
現在は悲しい部。

今回は釣り部が最も活躍した部活でした。
衰退する部活、盛り上がる部活、次回の DM で
はどの部活が繁栄しているのか…？
逸品館部活動伝説はまだまだ続きます。

